



特定非営利活動法人

HANDS (Health and Development Service)

# ケニア・ケリチョー郡での幼稚園教員による 成長モニタリング（身体測定）プログラム

---

特定非営利活動法人HANDS ケニア事務所 八木志津子

# GROWTH MONITORING BY TEACHERS AT EARLY CHILDHOOD DEVELOPMENT AND EDUCATION (ECDE) CENTERS IN KERICHO COUNTY, KENYA

---

## A FIELD REPORT

Kondo<sup>1</sup>, E., Yagi<sup>2</sup>, S., Kipyegon<sup>2</sup>, W., Takeuchi<sup>3</sup>, R., Koskei<sup>2</sup>, G.  
and Kitajima<sup>2</sup>, K.

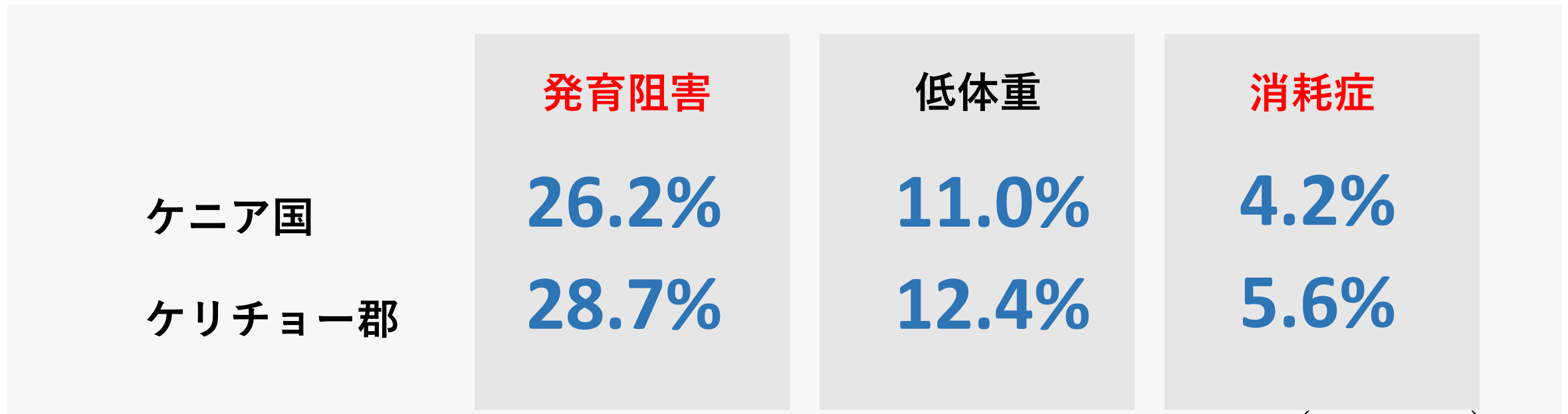
1 Ajinomoto Foundation, Tokyo, Japan, 2 Health and Development Service  
(HANDS), 3 Faculty of Medicine, University of the Ryukyus  
[yagishizuko57@gmail.com](mailto:yagishizuko57@gmail.com): for questions about this presentation



はじめに

## 3つの栄養不良の形態

0才から満5歳以下の  
子どもの栄養不良の割合



(KDHS 2014)

はじめに

## 3つの栄養不良の形態

プロジェクト対象幼稚園の満  
4歳と満5歳児

2019年2月 10校

(この間2020年2月から1年間幼稚園閉鎖)

2021年2月 6校

発育障害

7.5%

6.5%

低体重

13.7%

12.0%

消耗症

22.9%

30.4%

2021年2月 学校や幼稚園が再開されてからは、これらの対象幼稚園の園児たちは給食で毎日、雑穀粥やモデル学校菜園で採れたサツマイモ、果物などを食べています。



## 成長モニタリングの役割

成長モニタリングで何ができるのか。

早期介入、知識の向上、家族の行動への動機づけ

ところが、ケニアの子どもたちは2才の誕生日を迎えるころから、体重や身長を測定してもらえる割合は減り、**半分**までに下がる。

(PMA 2020, 2018)

## HANDSの栄養改善プロジェクト

公立幼稚園10校  
3年間で800人の園児

成長  
モニタリング



給食  
・モデル菜園

日本国際協力財団



## 成長モニタリングプログラム

### HANDSが提供したもの

- 1) 幼稚園教員20名への成長モニタリング**研修**（理論と技術）と現場での**個別支援**、**技能試験**、**モニタリング**（保健局）
- 2) **計測機器等**（体重計、身長計他）
- 3) 幼稚園関係者と教員、HANDSによるプログラムの進捗や問題点の**話し合いの場**



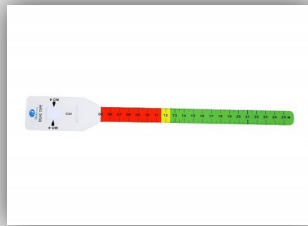
### 幼稚園で実施されたこと

- 1) 父母たちへの説明と**理解の促進**
- 2) 幼稚園で全園児を対象とした**成長モニタリング**（定期実施）
- 3) 併設の小学校も含んだ学校全体の**定期行事**にする

## 成長モニタリングプログラム

### 供与資器材

体重計



MUACテープ



身長測定計

身体測定のために使用する器材

栄養状態の指標算出のために使用する標準曲線と表



## 成長モニタリングプログラム

### 研修その他の風景

成長モニタリングデーの制定を  
校長や運営委員と話し合う幼稚園教員



集団研修後、技術的支援の必要のある  
ECDE教員に対し現場で指導する栄養士

父母に対する指導方法の研修



郡栄養課長による技能試験

## 成長モニタリングプログラム

### 成長モニタリング風景

2019年10月 チェビレッチ幼稚園で

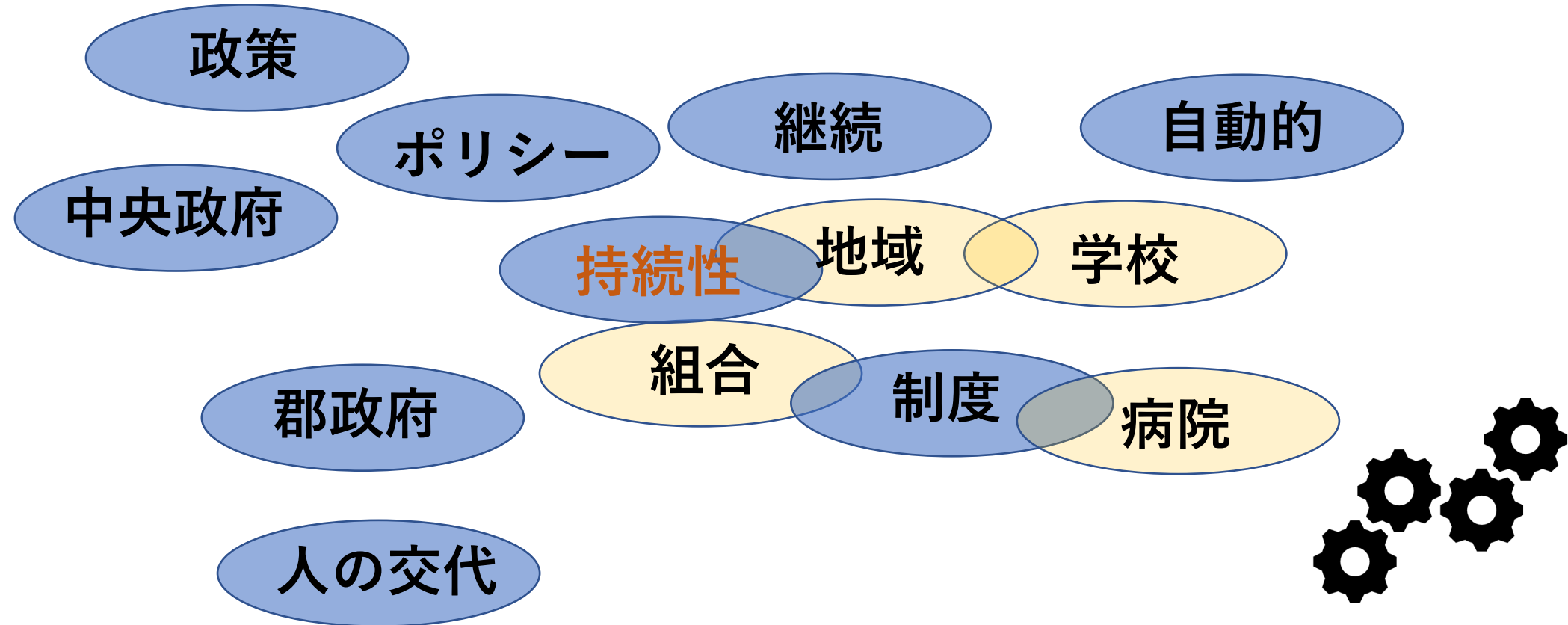


# 成長モニタリング活動の今ー小さな仕組みづくり

---

# 成長モニタリング活動の今ー小さな仕組みづくり

## 仕組みって何だろう



## 幼稚園で生まれた小さな仕組み

成長モニタリングデーの制定を校長や運営委員と話し合う幼稚園教員



成長モニタリング活動の制度化

色分けや写真で父母への分かりやすい食事指導を練習

父母に対する指導方法の研修



ありがとうございました。

---

2022年2月25日



# ご質問への回答

## 質問

各国で給食に取り組もうとしても、資金繰りに苦労されることが多く、お金が無くなると給食もなくなる、というケースも多いかと思えます。HANDSさんは、どのように、継続可能な体制を作ったのか、段階があるかと思いますが、お教えてください。また幼稚園での栄養改善を行おうする上で、予想通りに行かなかったこと、失敗したことなどもあれば、ぜひご共有頂きたいです。

- ・対象31校中30校が継続、1校が最近干ばつのため中止。3
- ・高価な砂糖を少なくさせる。甘味の追加には、発酵粥や、家庭菜園や安価のサツマイモや果物を一緒に提供。
- ・1年に1度、収穫期に保護者から1年分のメイズの粉を提供してもらい、1年間上手に保存・使用する。
- ・校長のリーダーシップ。
- ・園児たちから親への給食リクエスト。
- ・給食によるベネフィットを教員と保護者が十分理解するまで、色々な方法でアプローチ。

